

戦後80年企画

朗読劇「園井恵子と櫻隊」

《脚本・演出》坂田裕一



これは夢を紡ぐ人々の群像劇である

《開催日時》

2025年8月23日(土)14:00 開演

24日(日)14:00 開演

開場は開演の30分前

《会場》

いわてアートサポートセンター 風のスタジオ

盛岡市肴町4-20 永卯ビル3F

019-604-9020

《料金》

前売：一般1,500円(当日1,800円)

学生1,000円(当日1,200円)

主催：特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

協力：八幡平市・岩手町・園井恵子を語り継ぐ会



いわてアートサポートセンターでは、毎年8月に終戦企画の演劇や朗読劇を行っています。

本作品は、15年前に行った同名の朗読劇を大幅に改定し、出演者も大きく変わりました。経験豊かなアナウンサーとベテラン俳優に加え、若い女優や一般公募の市民も出演します。また、劇中の音楽は全曲オリジナルで、6月に行われた「この世のことならず」で、素晴らしい音楽を提供した宮古市在住のハルさんが作曲しました。

《演出より》

戦後80年が経つが、昨今の社会情勢を見ると、何やら戦前の雰囲気似たきな臭さを感じる。震災も戦争も一瞬のうちに人々の夢を奪い去る。移動演劇隊 桜隊も、広島原爆で隊員9人を失う。

岩手出身の女優、園井恵子もそこにいた。彼女の夢は思いっきり演劇をすること。その夢も破れた。無念だったに違いない。だが、今に生きる私たちは、桜隊の悲劇を単に「悲劇」として終わらせても良いものだろうか。園井恵子を悲劇のヒロインに押し込めてしまっても良いのだろうか？私たちはそれぞれに夢を持っている。だが、その夢を一瞬のうちに失ってしまうこともあり得るのだ。演劇の持っている使命は、いつの時代でも人々の共感の装置になる事、人々の記憶を紡ぐこと。園井恵子や桜隊の夢は、私たちの夢でもある。夢は人々の思いの中に生き続けなければならない。私たちはそれを紡ぐ使命を持つ。園井恵子が残した夢を本公演でたどりたい。



参考及び一部引用／千和裕之著「園井恵子 原爆で散ったタカラジェンヌの夢」(国書刊行会)
園井恵子資料集(岩手県松尾村編)、人物史詩「桜隊」(作・近野十志夫)

【出演】

江幡平三郎(IBC岩手放送)  終戦70年特別企画「戦没農民兵士の手紙」「高橋克彦百物語」「歌と語りで綴る～田中館愛橘物語～」などの朗読劇に出演。	太田由美子  (株)IBC岩手放送、(株)パネットアナウンサーを経て、現在フリーアナウンサーとして活動。朗読劇出演、脚本も勉強中。	大森健一  劇団赤い風に所属。演出としても数々の作品を手掛ける。	川口奈々美  2020年より二戸市で演劇活動を開始。 寺山修司演劇祭を機に盛岡市でも舞台に立つ。	咲山春菜  高校生から演劇を開始。劇団赤い風に客演したことによる縁で入団。「奴婢訓」「犬神」などに出演。
霜月 漣  劇団赤い風所属。これまで「アスリープコール」他マニラ・東京・沖縄公演参加。寺島作品多数参加。最近では寺山修司生誕90年記念「犬神」に出演。	角掛 潤  朗読劇は初めてですが、心を込めて取り組みたいと思いますのでよろしくお願いします。	永井志穂  高校演劇から盛岡劇場「創作舞台」を経て現在劇団赤い風所属。 朗読劇は勉強中です。よろしくお願いします。	中山多美子  朗読と俳句とビリヤードがマイブーム。 小さな体から溢れる想いを届けます。	二胡  劇団赤い風所属。演技も朗読劇も諸々修行中です！

【スタッフ】

音楽／ハル 音響操作／刈屋千帆子 照明／工藤雅弘 スライド／大坪恵子
制作／NPO法人いわてアートサポートセンター・目黒千恵子・伊藤加菜子

【お申し込み・お問合せ】

NPO法人いわてアートサポートセンター 風のスタジオ
Tel:019-604-9020
Mail:kaze@iwate-arts.jp

【プレイガイド】

カワトク／風のスタジオ
もりおか啄木・賢治青春館／もりおか町家物語館

ご予約は
こちらから
お願いします

